

平成28年度第4回

函館市榎法華地域審議会会議録

(平成29年3月28日)

函館市榎法華支所

平成28年度第4回函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	平成29年3月28日(火) 16時00分～16時55分		
開催場所	函館市榎法華支所 旧議場		
議題	1 前回の意見等の集約結果と取組状況について 2 平成29年度合併建設計画地域別事業について 3 地域振興全般に関する意見交換 4 その他		
資料	資料1 平成28年度第3回函館市榎法華地域審議会 意見・要望等に対する取組状況 資料2 平成29年度合併建設計画地域別事業一覧		
出席委員	◎木下恵徳委員 ○北村和彦委員 亀沢正史委員 小市光子委員 越崎賢弥委員 川口英孝委員 五ノ井孝司委員 長崎賢一委員 中村千重子委員 中村麻友委員 毛綱珠枝委員 中村元勝委員  (◎会長 ○副会長) (計12名)		
欠席委員	熊谷るみ子委員 岡山弘一委員  (計2名)		
事務局 出席者の 職・氏名	函館市榎法華支所 支所長 渡邊達也 地域振興課長 小辻淳一 市民福祉課長 山本潤一 産業建設課長 平沢浩樹 地域振興課主査 川口勝也 地域振興課主任主事 金澤良一 地域振興課主任主事 横道美則 函館市教育委員会 榎法華教育事務所長 佐々木 真 函館市企画部 計画調整課主査 渡邊 学 計画調整課主事 江藤 彰洋  (計10名)		
その他	傍聴者 (計2名) 報道機関 北海道新聞社 (計1社)		

○事務局 本日はご多用のところ出席をいただきお礼申し上げます。

開会にあたり、本審議会の会長より挨拶を申し上げます。

○木下会長 平成28年度第4回目の地域審議会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、出席賜りお礼申し上げます。

本日の審議会の議題は、「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」、「平成29年度合併建設計画地域別事業について」、「地域振興全般に関する意見交換」が主な内容となっている。

皆様の忌憚のない意見を頂戴して参りたい。

以上、簡単であるが、開会にあたっての挨拶とする。

○事務局 続いて、渡辺支所長よりご挨拶申し上げます。

○渡辺支所長 年度末の大変お忙しい中、お集まりいただきお礼申し上げます。

今年の楡法華地域は例年に比べ雪が多かったと伺っているが、函館市全域では雪も少なく比較的穏やかな冬だったと感じている。昨年のような異常な高波被害もなく、なんとか無事に一冬過ごせたのかなと感じている。

春もすぐそこまで来ていると感じてはいるが、昨日は雪崩事故があった。油断せずに年度末、そして新年度を迎えたいと考えている。

函館市では、先日、定例の議会を無事終了して、新年度の予算案も了承されたところである。平成29年度は数年ぶりに、財源調整のための基金を5億円取り崩して収支均衡を図るという、少し厳しい予算とはなっているが、当地域に関わる予算については、一定程度確保できたものと考えている。これらを有効に活用して、地域の魅力向上と安全確保などに努めてまいりたいと考えているので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は平成29年度予算の中で、当地域に関わる事業計画について担当から報告さていただく予定となっているので、ご承認のほどよろしくお願い申し上げます、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

○事務局 出席委員の報告をさせていただきます。

出席委員12名、欠席者2名。委員の半数以上が出席しているので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、本会議が成立していることを報告する。熊谷委員、岡山委員に関しては欠席である。

これから進行は地域審議会の設置に関する規定第8条第2項の規定により会長が会議の議長を務めることになっている。木下会長、よろしく願います。

○木下会長 ただ今から「平成28年度第4回函館市楡法華地域審議会」を開催する。

議題1「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」事務局より報告願う。質疑等については、すべての報告が終わってから一括で受けたいと思う。

○小辻課長 12月1日に開催された、第3回地域審議会においての、委員からの意見・要望等に対する取り組み状況について、内容が水産振興計画に関すること1件だったので、産業建設課長から説明する。

○平沢課長 資料1をご覧いただきたい。前回の審議会において、木下議長、北村委員から、水産振興計画についての意見があった。

市としては、豊かな海を育むうえで森林は重要な役割を果たしていると認識している。適切な森林の維持・管理は必要であると考えていることから、これまで市有林においては、恵みの森づくり事業などによる植樹活動も行ってきている。また、近年、非常に私有林における伐採が進んでいる状況から、これにより河川の土砂の流出などによるウニや天然昆布、養殖昆布などへの影響を懸念しているところである。

現在の法令では、森林の伐採・売買等を制限することはできないことになっている。また、行政として、対象となる広大な森林を購入して、維持・管理していくことは、現段階では難しいと思っている。

また森林法では、民有林を伐採するときには事前の届け出が必要であり、届け出では伐採後の造林の計画を記載することとなっているが、森林経営計画を策定するなど、一定の条件を満たすことで植林やその後の保有・間伐等にかかる費用の一部について補助を受けられることもある。植林の状況について定期的に確認を行い、必要に応じて所有者に指導するとともに、補助金制度等についても周知してまいりたいと考えている。

また、伐採期を迎える市有林については、栄養豊富な水を作ることができる広葉樹の植栽なども検討しながら、今後とも森林や漁場環境への保全に取り組んでまいりたいと考えている。

それから、小市委員から、策定する振興計画について勉強会などを開催してはどうかとの要望があった。策定した計画については、市役所の本庁舎や各支所での配布、あるいはホームページに掲載するとともに、各漁業協同組合への配布のほか、2月22、23日に戸井地区と南茅部地区で開催した水産産学連携交流会で配布するなど、漁業者への周知に努めてきている。

考え方は以上だが、特に森林の伐採について、このような状況で進んでいるが、海への影響ももちろん懸念され、また地域にとっても自然環境の変化、気象状況の変化など、いろいろな問題が含んでいると思うので、漁業協同組合や町内会など、さまざまな機関と連携をとりながら、最善策を検討していきたいと思っている。

○木下議長 ただいまの報告に関し、何か質疑・ご意見等があったらお願いします。

(なし)

それでは、次の議題「平成29年度合併建設計画地域別事業について」事務局から説明願う。

○小辻課長 資料2をご覧ください。この資料は、平成29年度合併建設計画の地域別事業で、建設計画に登載されている事業等のうち、椴法華地域に関係する事業等の予算計上されたものを集約している。

この資料に基づき、産業建設課から市民福祉課、教育事務所、そして地域振興課の順番で順次説明申し上げる。

○平沢課長 産業建設課関連の事業計画を説明させていただく。

まず「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2) 水産業の振興」の項目では、「ウニの深浅移殖放流事業」として、例年同様、平成29年度においても漁業協同組合の事業として行われるウニの深浅移殖放流事業に対して補助金を拠出する。248万7千円で、70万個を予定している。次に「ナマコ種苗放流事業」として、平成27年度から実施しており、引き続き行う予定である。椴法華地域においては、2万個の種苗放流を予定している。

次に「(3) 農林業の振興」である。「市有林の整備」として、平成29年度については、農林水産部の事業として、絵紙山地区の市有林の整備を行う予定である。

次に「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の「(2) 消防・防災・生活安全の

充実」の項目で、「河川の整備」として「矢尻小川改修事業」を行う。平成25年度から継続しており、土木部の事業として矢尻小川の水量の分散化を図るための工事で、予算は2,800万円である。

次に「(3) 交通・情報ネットワークの形成」である。「榎法華港改修事業」として、平成29年度も、引き続き越波対策として、東防波護岸のエプロン拡幅工事を行う。

○山本課長 市民福祉課関連の事業について説明させていただく。

「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」の「(3) 高齢者福祉の推進」で「混合型介護付有料老人ホーム整備事業」として、施設の整備事業費180万3千円を予算計上した。「その他関連事業の推進」として、「高齢者等送迎サービス事業」に予算額229万8千円を計上した。送迎サービスについては、昨年恵山病院まで距離を伸ばし、現在は週1回希望を取り、状況の推移を見てきた。来年度以降については、社会福祉協議会との体制もあるが、週2回から3回の運行できるよう協議したい。次に「高齢者温泉入浴優待事業」に予算額112万円を計上した。65歳以上の高齢者280人分を対象にホテル恵風の入浴優待券を10回分配付している。次に、「混合型介護付有料老人ホーム運営費補助事業」に予算額298万円を計上した。続いて「5. 連携と交流によるまちづくり」の「(1) 住民参加の推進」の「その他関連事業の推進」で、「集落維持対策事業(榎法華地域パワーアップ事業)」に予算額50万円を計上した。

○佐々木所長 榎法華教育事務所所管の事業について説明する。

「4. いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」の「(1) その他関連事業の推進」の、「ふれあい大運動会事業」については13万1千円、「体験教室事業」として、「陶芸教室」と「バレンタインチョコを作ろう」を開催する予定で、予算額6万2千円。「健康推進事業」として、春と夏の2回行われる「恵山登山」に予算額2万1千円。「高齢者ふれあいいきいき学級事業」として予算額4万1千円を計上し、高齢者を対象とした「健康講座軽運動」と、高齢者と小学生を対象とした「文化伝承講座鏡もちをつくろう」を開催する。東部4地区による「4地区交流パークゴルフ大会事業」に予算額2万3千円を、年始めに戸井、恵山、榎法華の小中学生対象に開催する「新春書き初め会」に予算額5万6千円を計上した。

次に「5. 連携と交流によるまちづくり」の「(1) 住民参加の推進」の「地域コミュニティ施設の整備」の「総合センター改修事業」として、総合センター2階大ホールステージの屋上防水工事を行うため予算額103万9千円を計上した。なお、合併建設計画事業ではないので資料に記載していないが、総合センター煙突改修として予算額640万円を計上している。これは「アスベスト対策事業」として総合センターの煙突に新たな煙突を取り付ける切り替え工事を行うものである。

次に、「(2) 国際交流・地域間連携の推進」の「友好地域子ども交流会事業」については、榎法華地区と青森県風間浦村の小学校4年生から6年生の子どもたちの交流会である。毎年、交互に交流を深めており、平成29年度は函館市での開催となり、予算額24万2千円を計上した。

○小辻課長 地域振興課に関わる事業について説明する。

「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の「(2) 消防・防災・生活安全の充実」の「その他関連事業の推進」の「防災無線システム経費」として、防災行政無線の運用ならびに維持管理経費に257万4千円を計上している。

次に「(3) 交通・情報ネットワーク」の「その他の関連事業」の「地域内交通確保対策事業」として、地域福祉バスの運営経費に210万9千円を計上している。

「(5) 生活環境の整備充実」については企業局の事業で、簡易水道の配水ポンプ整備に予算

額900万5千円を計上している。

○木下議長 ただ今の説明に関し、何か質疑・意見があったらお願いします。

○北村委員 「市有林の整備」として予算額18万6千円を計上しているが、この額で何ができるのか。

○平沢課長 予算が市全体で計上しており、楸法華管内の割り当ての率が、平成28年度は多かったが、29年度はこの額が計上されていた。

○北村委員 29年度の予算については仕方がないと思うが、このように私有林の伐採が進んでいることから、市のものについては、間引きするなど、きちんとした整備を推進していただければと思うので、30年度について予算の確保をお願いしたいと思う。

○木下議長 他にないか。

○亀沢委員 高齢者温泉入浴優待券は、使用しなかった場合の予算はどうなるのか。

○山本課長 入浴優待券は65歳以上の高齢者に配付している。予算の執行については、ホテル恵風に集計してもらい実績で料金を支払っている。

○木下議長 去年の実績はどのくらいか。

○山本課長 まず、利用率について、28年度は61.4%、27年度は57.8%、26年度は56.8%、25年度は55.7%となっている。利用枚数については、28年度2,700枚、27年度2,600枚、26年度2,609枚、25年度2,575枚となっている。

○木下議長 他にございませんか。

○北村委員 パワーアップ事業について、これまで何回か意見があったと思うが、当初の構想から逸脱した事業が行われていると思っている。予算が恒久的ならば、真にこの地域の将来を担うものに使うべきだと考えてスタートしたはずなので、もう一度見直しが必要なのではないかと私は思っているが、どうか。

○山本課長 前回、前々回と、パワーアップ事業については、委員の皆さんから色々な意見をお聞きした。前回は答弁したが、29年度については、当初のパワーアップ検討会等に携わった方の中から、小規模なグループで、合併して何年かが経過して、今の地域の方々がどんなニーズがあるのかを聞き取りしたいと思う。

その声をこれまで事業委託している団体に情報提供をして、ニーズに応えられるよう、新たな事業を検討したい。

○北村委員 これは前課長の頃に、我々が検討会において、ある骨格を作りこの方向にいきたいと思ったのだが、その構想から逸脱した事業が行われていると思っているので、再度、協力をお願いしたい。

○木下議長 他にないか。

他に無ければ、次の議題「地域振興全般に関する意見交換」に入る。

委員の皆さんから何かあるか。

○亀沢委員 何とも答えようがないかと思うが、合併してずいぶん経っても合併建設計画に書いてあるようなことの実感が湧かない。分析したことはないか。

○木下議長 亀沢委員が最初に、「どう答えたらいいかわかんないでしょうけど」という発言のもとに話された。私もたぶん、理事者側にいたらどう答弁したらよいかわからないと思う。この件に関しては、検討して、次の答弁でも良いか。

○亀沢委員 良い。かなり時間がかかると思うので、ゆっくり分析してほしい。

○北村委員 難しいだろう。地域単独で予算を組める枠が決まっているのではないか。

○木下議長 今まで、市長から何度か諮問されて答申した。そのなかで、合併建設計画の進捗状況は、当初の計画どおりおおむね遂行されてきているという答申をしている。それは、我々は毎年、合併建設計画に盛り込まれたことについては、報告を受けているが、それはほとんど同じようなことで、当初の計画どおりにしか出せない。だが、今回はこの機会に大変難しいとは思いますが、整理されたもの、未整理のものをまとめあげてほしい。

○渡邊支所長 ただいま会長から指摘があったが、例えば、防波堤を何メートル整備しようと計画し、現在何メートルで進捗率は何%というような、事業の量的な進捗状況については表示ができるが、亀沢委員が言うような充実度、満足度となると、定量的に表すことは不可能だと思う。

我々は、地域審議会の場合や、普段の地域の声を聞きながら、住民の要望を判断しながら、次年度の予算要求をするので、事業の調査というのは、量的なものであれば調査できるのが、満足度となると難しい。

○亀沢委員 そんな難しい話ではない。この合併建設計画にも市の予算にも、いろいろな項目がある。タイトルが立派で、「いい町にします」などと言うことは良いのだけれど、そういうことをずっと言われていても実感がない。実感というのは個人の問題だから、それを数量化しようなんてことは無理。だから実感がないと言うのは何かが悪いからではないのか。そこをなんとか分析してくれないかということ。

○北村委員 何について実感がいいのか指摘してもらわないと漠然とし過ぎる。

将来性が無いから合併したわけでしょう。人口減が食い止められないから合併したわけでしょう。それは最初からわかっていたことで、実感論でいったら、これが現実だから、私は大変満足している。私は人口が減るスピードがもっと速いと思っていた。実感という言葉はちょっと...

○亀沢委員 私はどの項目を見ても実感はない。

○北村委員 でも、ある人もいる。

○木下議長 実感の有無は個人差が非常に激しい。そして私は合併した後、いろいろな実感がある。

この合併建設計画について、こんなものかという思いと、しかしながらその中でも港湾整備とか河川の整備が順調に進んできたものもある。実際に目の前にある事業だと実感がわくのだろうが、離れているところで事業をやっている、いつの間にか出来上がっているようなものだと、なかなか実感がわかないのではないか。

進捗状況を報告することは、データを集めてできるだろうが、実感や体感ということになると、報告は難しいと思う。

それで、住民はアンケートをとったところで、「良かったか」、「ダメだったか」、「どちらとも言えない」、その三択で、この結果だって実感とかけ離れている。これはひとりひとりが地域に愛着を持って、じっくりと注意深くお節介をしながら周りを見るようにしないと、なかなか自分の視野に入ってこない部分もあると思うので、進捗状況など報告してもらえものはしてもらいたいと思うが、ただいまの実感や体感というのは、皆さんが人と会って話したときにそういうことを話題に出して、この会議で披露していただければ、またそれが皆さんに伝わるかなと思う。

この点について、これで終わっても、亀沢委員よろしいか。

○亀沢委員 良い。

○川口委員 12月の議会において、魅力ある都市ナンバーワンに3年連続で函館が選ばれ、幸福度については中核都市43都市の中で最下位だと議論されたと思うが、市側の答弁を聞いてなかったのだが、どういう答弁だったのか。

○渡邊支所長 次の審議会までに答弁内容を確認してからお伝えしたいがいかがか。

○川口委員 よろしい。

○北村委員 支所の窓口でも確定申告のサポートというか、受付をしていると聞いたが、私は、確定申告は税務署に行くのだが、今年は特にマイナンバーの導入で従来にも増して添付資料が増えた。

この地域において確定申告の認識は、自分のためにするものだからある程度の資料を持参して助言を求めているのか、それとも何もせずに職員任せにしているのか、どちらか。

○山本課長 本来、確定申告は税務署の業務である。その受付について、市が協力している。市では、道市民税の申告があるので、確定申告と道市民税の申告を同時に受け付けている。

本来は、北村委員が言うように、確定申告は自分で申告をするものである。漁業者や商売を営んでいる方の中には、青色申告で税理士に依頼している方もいる。

我々としては、行政として、準備できる資料には限りがある。本来は自分で確定申告をしなければならず、我々はあくまでも本人のお手伝いをしているというのが確定申告である。

それで、今までは支所の窓口で便宜的に用意できる資料については対応しているが、今後は本庁と同じ流れにならないといけない。例えば、住民が自分の資料を用意して、対象になるかならないかの判断をしてもらって、資料を作る形が望ましいと思っている。

毎年、確定申告後に、本庁の市民税担当を交えて4支所の担当と協議をするが、その中でも支所に頼りすぎる面があるとの意見が出ており、やはり市のやり方を統一する必要があるのではないかとされている。統一が正式に決まったら、住民にPRしながら、その都度、指導していきたいと思っている。

○北村委員 窓口に来られる人数はどのくらいか。

○山本課長 昨年から比べると若干だが増えている。今日現在で、171名である。

本庁が応援に来て対応できる職員数が多く、地区割りをしている日に、たくさんの方が来てくれると良いが、最近は、その時間帯が非常に混むことから、それ以降の日に来る方が多くなっているため、それも今後の対策として検討をしている。

○北村委員 個人情報も絡む案件なので大変気を遣う業務だと思うが、みなさん頼られていると思うので、よろしく願います。

○木下議長 合併したとはいえ、もともとこの支所管内は親切に対応してくれていたもので、できるだけ配慮していただけたらと思う。

○山本課長 基本的には身分証明を提示してもらうのが本来のシステムである。

支所の窓口にご用の際は、身分証明とお金と印鑑を持参するようお願いいただければと思う。

○木下議長 他にないか。

○川口委員 以前、番屋川の河川工事を八幡川の工事が終わった後にやるということで地権者に説明があった。調査はしたが、その後、進展がない。現在の状況を調べてほしい。

○木下議長 他にないか。

○小市委員 パワーアップ事業についてプロジェクトチームも作ってそこで話し合っただろうか。

また、プロジェクトチームにはこれまでのパワーアップ事業に携わってきた人も含め、様々な職業や年代の方々を募ってはどうか。

○山本課長 これまでのパワーアップ事業の話し合いについては一定程度整理が着いて、方向性を出した。これまでのパワーアップ事業を振り返って、要望があるようならば、当初のパワーアップ検討会議のメンバーに集まってもらい、意見や要望を聞き取り、事業を推進する団体へお伝えしたいと思う。要望を実行できるかどうかは団体との協議になるが、行政としてどこまでやれるのか、もしくは地域として今後どうするのかという話し合いが出来ればよいと考えている。

○木下議長 他にないか。

他に無いようですので、次の議題「その他」であるが、事務局から何かあるか。

○佐々木所長 教育事務所から報告がある。「榎法華ふれあい大運動会」について、昨年10月の第2回地域審議会において、町会から小中学校合同運動会との同日開催も含め、様々な意見・要望が出され、小中学校の意向も確認しながら、実施方法・体制について検討しているとの回答をした。そして、これまでの間、小中学校および町会と協議してきたが、地域の高齢化や少子化による人口減少により、参加者数が減少していることなどから、今後においても地域の交流の場である「榎法華ふれあい大運動会」を維持・存続させるためには、小中学校の運動会と合同で開催することが良いのではないかとということになった。ついては、平成29年度は、小中学校と合同で開催することとしたことを報告させていただく。

○木下議長 質疑あるいは意見はないか。

無ければ、今年の合同運動会を期待しているので、よろしく願います。

これで本日の議題は全て終了した。次回の開催は7月を予定しており、議題は「前回の意見等の集約結果と取組状況について」「平成28年度合併建設計画地域別事業実績報告について」「地域振興全般に関する意見交換」を考えている。日程も含め、正副会長に一任願いたいと思うが、よろしいか。

(はいの声)

○木下議長 以上で、平成28年度第4回函館市榎法華地域審議会を閉会する。

午後4時55分終了